

第 229 回液体クロマトグラフィー研究懇談会

- 期 日** 2010 年 4 月 20 日 (火) 13:00~17:15
- 会 場** 株式会社島津製作所東京支社 [東京都千代田区神田錦町 1-3, 電話 03-3219-5609 交通: J R 神田駅より徒歩 10 分、地下鉄新御茶ノ水駅・淡路町駅・小川町駅 B7 出口より徒歩 6 分]
(<http://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/tokyo.html>)
- 開催趣旨** 分取 LC を使いこなすにあたり、装置やカラムなどに加えられた工夫や、メソッド開発を行う上でのポイント等をご紹介いただき、分取 LC ユーザーの問題解決に向けてのヒントやメーカー側への要望等が議論出来る場を設けられたらと考えております。
- 講演主題** 分取 LC お役立ち情報あれこれ 2010 ~ 装置、カラム、メソッドなど ~
- 講 演**
- 講演主題概説 (オーガナイザー) (13:00~13:05)
(ジーエルサイエンス(株)) 黒田育磨
1. 分取 HPLC メソッド開発におけるポイント (13:05~13:30)
(ジーエルサイエンス(株)) 黒田育磨
2. 上手な分取カラムの使い方 ~ キャパシティーアップのコツ他 (13:30~13:55)
(日本ウォーターズ(株)) 津田葉子
3. フラクシヨンの純度と回収率を向上させるためのノウハウ (13:55~14:20)
(アジレント・テクノロジー) 熊谷浩樹
4. カラムスイッチングを用いたオンライン分取-分析システムについて
(14:20~14:45) ((株)島津製作所) 八巻 聡
休憩 (14:45~14:55)
5. Off-line-2D-LC を用いた抗体医薬品の電荷的ヘテロピークの intact MS 分析
(14:55~15:30) (中外製薬(株)) 木村美紀子
6. 全自動式・中圧分取クロマトグラフによる、合成物質および天然物由来成分の精製
(15:30~15:55) (グレースジャパン(株)) 渡辺一夫
7. 生体高分子分取用充てん剤の特性と機能 (15:55~16:20) (東ソー(株)) 片岡俊哉
8. 高効率分離、高分取生産性である分取超臨界流体クロマトグラフィーの紹介
(16:20~16:45) (日本分光(株)) 堀川愛晃
9. 総括「分取 LC を考える」 (16:45~17:15) (東京理科大学薬学部) 中村 洋
- 参加費** LC 研究懇談会会員: 1,000 円, 協賛学会会員 (日本分析化学会含む): 3,000 円, その他: 4,000 円, 学生: 500 円 (参加費は当日申し受けます)
- 情報交換会** 講演終了後、講師を囲んで交流会を開催します (会費 3,000 円)。希望者は必ず前もってお申し込みください (参加費は当日申し受けます)。
- 申込方法** 参加希望者は、同封の参加申込書にご記入の上 FAX または同内容を E メールよりお申し込みください。参加証は発行致しませんので、直接会場にお越しください (定員締切後の申込につきましては後日ご連絡します)。
- 申 込 先** 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304 号
社団法人 日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会
〔電話: 03-3490-3351, FAX: 03-3490-3572, E-mail: hm_tanaka@jsac.or.jp〕